

地区だより

令和5年8月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,835人 女 20,356人
計 39,191人
世帯数：20,894世帯
(7月1日現在)

2023

8月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊚536-9828

市が発令する避難情報に応じて速やかに避難しましょう

夏から秋にかけては、台風や前線の影響で大雨・洪水など自然災害が発生しやすくなります。早めに避難するなど、適切な防災行動をとれるよう防災情報などを有効に活用し、災害から自分や家族の命を守ることや、被害を未然に防ぐことが大切です。

■問/危機管理室 ㊚525-3793

○洪水・土砂災害時の開設避難所

警戒レベル3【高齢者等避難】発令で開設する避難所
・三河台学習センター ・橘高等学校
警戒レベル4【避難指示】発令で追加開設する避難所
・三河台小学校 ・福島成蹊高等学校 ・桜の聖母学院高等学校
警戒レベル3【高齢者等避難】発令で、下記店舗駐車場への一時避難が可能です。
・ヨークベニマル(入江町店・野田店) ・株式会社いちいフォーズマーケット

○地震災害時の開設避難所

一次開設避難所
・三河台学習センター
災害の状況により開設
・三河台小学校 ・橘高等学校 ・福島成蹊高等学校 ・桜の聖母学院高等学校

- ペット同伴避難所 勤労青少年ホーム
- 福祉避難所 NCVふくしまアリーナ

福島市公式防災アプリをご活用ください

防災や災害情報を分かりやすくまとめたスマートフォン向けアプリです。災害時・平常時問わずご利用いただけますので、この機会にご活用ください！

災害時：災害情報、避難情報などをプッシュ通知でお知らせします。

平常時：各種ハザードマップなど災害に役立つ情報の収集ができます。

(iOS版)



(Android版)



安全な場所に住んでいる親戚や友人宅、集会所などへの避難も考えましょう。

避難する場合は、非常持出品(食料・水など)を持参しましょう。

「第一方面隊消防フェア」を開催！

市民の皆さんが安心して暮らせるように、火災や災害現場で活動する消防団第一方面隊(主に市内中心部と野田町を管轄)が消防団活動をPRするイベントを開催します。

当日は、イベントに参加した方に花鉢などのプレゼントも準備しています。さらに、ワークショップ「消防ホースでストラップ作り」を開催します。ぜひお子さんと一緒にお越しください。

■とき/8月27日(日)午前10時～正午 ■ところ/福島駅西口駅前広場 ■問/福島消防署 ㊚534-9105

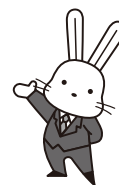
令和5年度 中央地区敬老会のお知らせ

今年度の中央地区敬老会は、満77歳および満88歳の方を対象として開催いたします。

なお、野田町敬老会は、実施内容が決定次第お知らせします。

■問/長寿福祉課
㊚525-7656

対象者 (9月15日時点)	内 容
満77歳および満88歳の方	◇とき 9月23日(祝) 午前10時30分～ ◇ところ とうほうみんなの文化センター 小ホール ◇内容 式典・アトラクション等 ※詳細は、後日「はがき」でお知らせします。 敬老会(式典)で記念品を贈呈します。
上記以外の方	記念品を地区担当の民生委員がお配りします。 ただし、一部郵送対応もあります。(9月中旬以降) ※はがきでの案内はありません。



中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ㊟533-7592

ICT活用セミナー スマートフォン集中講座 ～初心者向けアプリ講座～

- 日時 9月7日(木) 午後2時～4時(終了予定)
- 場所 中央学習センター ホール
- 内容 持っているスマホを使い、アプリの種類や取り方・使い方、注意点、LINE(ライン)の使い方など
- 対象者 中央地区在住・在勤の一般成人の方
- 定員 12名(先着順)
- 講師 ドコモショップ福島北店より
- 参加費 無料 ※各自持参するスマホ使用による通信料は自己負担となります。
- 準備物 持っているスマートフォン(らくらくフォン・iPhone・その他のスマホ)を持参・筆記用具等
※スマホは十分充電し、持参してください。
- 申込方法 8月9日(水)から8月31日(木)までの間に、掲載のQRコードよりオンライン申し込み、または中央学習センター窓口・電話のいずれかの方法でお申し込みください。
※窓口・電話受付時間
午前9時～午後5時45分
休館日(火曜日・祝日)を除く



【QRコード】

♪みんなの花壇「まなびいガーデン」 市民の皆様のご協力ありがとうございました

6月24日(土)中央学習センター東側花壇にて、市民学校「花のまちガーデニング教室初夏の寄せ植え」に参加いただいた市民の皆様と一緒に「まなびいガーデン」の苗植えを行いました。



素敵な花壇が出来上がりました。
お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください♪

【まなびいガーデンとは?】

「まなびいガーデン」は、中央学習センターに市民の皆様がいつでも集える場所を作りたいとの思いから設けた、ボランティアガーデンです。この名前は、文部科学省の定めた生涯学習のイメージキャラクター「マナビィ」からきています。

あなたも福島市地域学校協働本部事業に参加してみませんか! ～学校支援ボランティア募集のお知らせ～

「地域の子どもは地域で育てる」「学校や子どもたちのために何かお手伝いをしたい」など、地域の教育力向上や活性化のために、学校支援ボランティアとしてみなさんがお持ちの専門的な知識や様々な技能などを、地域にある小学校や中学校の教育活動に活かしてみませんか。今年度もすでに小学校で、学校支援ボランティアによる学校支援活動を実施しました。学校や子どもたちを応援する地域の応援団として、積極的な応募をお待ちしております。



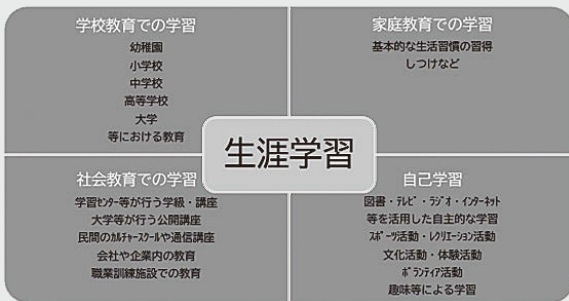
福島第一小学校における、学校支援ボランティア長島さんによる2年生生活科「野菜の育て方」での支援



福島第二小学校における、学校支援ボランティア紺野さんによる教員研修会において地域の歴史学習での講話

学びの轍 ～つどい・まなび・むすび・いかす、中央学習センターを未来へ～

学習センターの誕生と公民館



生涯学習の概念図(福島市第7次生涯学習振興計画より)

福島市においては生涯学習の理念をさらに進めるため、平成5年以降、各地に学習センターが設置されます。平成5年10月の蓬萊学習センターを皮切りに、平成9年4月に清水学習センター、平成11年4月に吾妻学習センターが設置されました。この頃は、生涯学習を進める施設として「地域学習センター」、社会教育を進める施設として「公民館」が並立している状況でした。良く「生涯学習」と「社会教育」の違いが取り上げられますが、「生涯学習」は、学習者の視点から捉えたもので、個人の主体的な学びを基本とし、その生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習することを指すものであり、学校教育や家庭教育など幅広く含まれるのに対し、「社会教育」は、「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として様々な世代や年齢層に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)(社会教育法第2条)を指します。しかしながら、「生涯学習」と「社会教育」の概念は違えど両者は密接な関わりにあると言えます。そこで福島市では、「社会教育」を中核としつつ、生涯学習を一体的に進めるため、平成16年12月に公民館条例を廃止し、学習センター条例を制定します。そして、平成17年4月に全ての公民館は学習センターへと名称変更するに至ったのです。

新館トピックス

- ・大ホールは、講演や音楽用途などで利用可能な防音仕様
- ・小ホールは、合唱やダンスなどの練習で利用可能で鏡などを整備予定

